



KONICA MINOLTA

製品安全データシート

整理番号 : 1993060759

作成 : 2001/01/01

改訂 : 2007/06/01

製品名 : 航空フィルム用定着剤 GC-101F

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : 航空フィルム用定着剤 GC-101F
 会社名 : コニカミノルタエムジー株式会社
 住所 : 〒191-8511 東京都日野市さくら町1番地
 担当部門 : 品質保証センター GI品質保証室
 (TEL042-589-8427, FAX042-589-8069)
 作成部門 : コニカミノルタビジネスエキスパート株式会社
 環境安全部
 (TEL042-589-8167, FAX042-589-8071)

急性中毒の恐れがある場合の緊急連絡先 : (財) 日本中毒情報センター 中毒110番
 (大阪) 072-727-2499(無料) 365日 24時間対応
 (つくば) 029-852-9999(無料) 365日 9時~21時対応

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

| 化学名(成分) | 含有量 wt% | PRTR法 | 官報公示整理番号 | | CAS. No. |
|---------------------|---------|-------|-----------|------|------------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| 無水チオ硫酸ナトリウム | 75~ 99 | 非該当 | 1-503 | 化審既存 | 7772-98-7 |
| 無水酢酸ナトリウム | 1~ 25 | 非該当 | 2-0692 | 化審既存 | 127-09-3 |
| 硫酸アルミニウムカリウム | * 1~ 10 | 非該当 | 1-25, 454 | 化審既存 | 10043-67-1 |
| メタ重亜硫酸ナトリウム | * 1~ 10 | 非該当 | 1-502 | 化審既存 | 7681-57-4 |
| 無水ホウ酸 (ホウ素として0.30%) | * 2.0 | 1種304 | 9-2403 | 化審既存 | 1303-86-2 |

(* : 安衛法通知対象物質 PRTR法 : 化学物質管理促進法)

3. 危険有害性の要約

人の健康に対する有害な影響 :

(誤飲) 人体への毒性影響は少ない。

(吸入) 人体への影響は明らかでない。

(目) 眼、粘膜を刺激することがある。

(皮膚) 皮膚を軽度に刺激することがある。

(長期) 人体への影響は明らかでない。IARC, NTP, ACGIHおよび日本産業衛生学会の発がん性の分類リストに、発がん性物質として記載されている物質は含有していない。

物理的及び化学的危険性 : 特になし

化学物質等の分類 : 分類の基準に該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合 : 速やかに空気の新鮮な場所に移る。異常を感じた場合は医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合 : 15分以上水でよく洗う。異常を感じた場合は医師の診察を受ける。

目に入った場合 : 直ちに15分以上、流水でよく洗う。異常を感じた場合は医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに水で口を濯ぎ、コップ1~2杯の水を飲ませ、医師の指示があった場合のみ吐かせる。医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 全ての消火剤の使用可

特定の消火方法 : 消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用すること。周辺火災の消火に務め、危険でなければ容器を安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 保護具を着用する (8章参照)。

除去方法 : 危険でなければ漏れを止める。吸い取るか又は掃き集めて空容器に回収する。



KONICA MINOLTA

製品安全データシート

整理番号 : 1993060759

作成 : 2001/01/01

改訂 : 2007/06/01

製品名 : 航空フィルム用定着剤 GC-101F

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

(技術的対策)

子供の手の届かない所に置く。

皮膚、粘膜、着衣に触れたり、眼に入らないようにする。適切な保護具を着用する(8章参照)。取扱い後に手などをよく洗う

(注意事項)

通常使用する場合には、火災防止の為の特別な予防措置は必要なし。

取扱いは十分な換気の下で行う。

保管 :

(適切な保管条件)

容器は密閉し、混触禁止物質(10章参照)より遠ざけて乾燥した冷暗所に貯蔵する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いは局所排気装置を使用するか、又は換気の良い場所で行う。

許容濃度 :

| 化学名(成分) | 安衛法 管理濃度 | 日本産業 衛生学会 | TWA | ACGIH STEL |
|---------------------|-------------|--------------|----------------|---------------|
| 無水チオ硫酸ナトリウム | — | 未設定 | 未設定 | |
| 無水酢酸ナトリウム | — | 未設定 | 未設定 | |
| 硫酸アルミニウムカリウム | — | 未設定 | 2mg/m3 (as Al) | |
| メタ重亜硫酸ナトリウム | — | 未設定 | 5mg/m3 | |
| 無水ホウ酸 (ホウ素として0.30%) | — | 未設定 | 10mg/m3 | |

保護具 :

(呼吸器の保護具)

通常の手取扱い条件下では必要なし。粉がまうようであれば、簡易防塵マスク(活性炭入り)。

(手の保護具)

不浸透性保護手袋。

(目の保護具)

安全メガネ。

(皮膚及び身体の保護具) 通常の条件下では必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

(形状)

粉末

(色)

白色

(臭い)

微酢酸臭

(pH)

4.5~5.0 (使用液)

(融点)

—

発火点 :

燃焼性なし

爆発特性 :

特になし

密度 :

1.10~1.20 (使用液)

溶解性 :

水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 :

通常の手取扱い条件下では安定。

避けるべき材料 :

強酸、強酸化剤

危険有害な分解生成物 :

一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物



KONICA MINOLTA

製品安全データシート

整理番号 : 1993060759

作成 : 2001/01/01

改訂 : 2007/06/01

製品名 : 航空フィルム用定着剤 GC-101F

11. 有害性情報

成分 :

無水チオ硫酸ナトリウム

急性経口毒性 : LD50: >5000mg/kg[ラット] (急性毒性なし)

眼刺激性 : Minimal[ウサギ] (僅かな刺激性)

皮膚刺激性 : Mild P. I. I. =0.2[ウサギ] (弱い刺激性)

無水酢酸ナトリウム

急性経口毒性 : LD50: 3530mg/kg[ラット] (急性毒性なし)

眼刺激性 : Mild[ウサギ] (弱い刺激性)

皮膚刺激性 : Mild[ウサギ] (弱い刺激性)

無水ホウ酸 (ホウ素として0.30%)

急性経口毒性 : LD50: 3136mg/kg[マウス]

12. 環境影響情報

成分 :

無水酢酸ナトリウム

生態毒性 : 96hr LC50= 410.00mg/l

メタ重亜硫酸ナトリウム

生態毒性 : 48hr EC50= 100.00mg/l

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 水質汚濁防止法 (生活環境項目) 及び下水道法 (下水の排除の制限) に該当するので河川、下水等にそのまま排出しない。自社で排水処理を行わない場合は産業廃棄物処理業者に処理を依頼する。特別管理産業廃棄物には該当しない。

14. 輸送上の注意

輸送上の注意 : “7章 取扱い及び保管上の注意” の記載による。

15. 適用法令

消防法 : 非該当

毒劇法 : 非該当

安衛法 : 通知対象物

化審法 : 非該当

PRTR法(化学物質管理促進法) : 非該当 (指定化学物質 1%未満)

16. その他の情報

参考文献 :

化審法の既存化学物質 安全性点検データ集 (化学品検査協会)

国際化学物質安全性カード 日本語版 (化学工業日報社)

環境化学物質要覧 (環境庁環境化学物質研究会)

新版危険・有害性便覧 (中央労働災害防止協会)

RTECS (U.S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICE)

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。危険有害性の評価は、今後の新しい知見で改訂されることもあります。また、記載事項は当製品についての通常の見解を対象にしており、特別な取扱いや組み合わせの場合は用途・用法に適した安全配慮の上お取り扱い願います。